

【NEWS RELEASE】

2022年4月28日

各 位

株式会社三井住友銀行

マツダ株式会社に「SDGs推進融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、マツダ株式会社（本社：神戸市東灘区、代表取締役社長：松田 禎一）に「SDGs推進融資」を実施いたしました。

「SDGs推進融資」は、融資実行時に、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）が、企業のSDGs（※）に関する現状の取組状況を確認した上で、本業を通じたSDGs貢献への道すじ（ロジック）を分析し、SDGsの取組推進に向けたアドバイス等をご提供する融資商品です。

今回対象となりました、マツダ株式会社については、以下に記す事業を通じて、SDGsの目標達成に向けた貢献が期待できると判断されました。

① プラスチックや食品残渣のリサイクル促進による廃棄物の発生抑制

目標 12 つくる責任 つかう責任	12.5 2030年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用および再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。
	12.3 2030年までに小売・消費レベルにおける世界全体のひとりあたりの食料の廃棄を半減させ、収穫後損失等の生産・サプライチェーンにおける食品ロスを減少させる。

② 廃棄物マネジメント業務や管理システムの提供を通じた廃棄物の適正管理・再利用の促進、現場における女性活躍推進

目標 11 住み続けられる まちづくりを	11.6 2030年までに、大気の状態および一般ならびにその他の廃棄物の管理に特別な注意を払うことによるものを含め、都市のひとりあたりの環境上の悪影響を軽減する。
目標 12 つくる責任 つかう責任	12.5 2030年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用および再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。
目標 8 働きがいも 経済成長も	8.8 移住労働者、特に女性の移住労働者や不安定な雇用状態にある労働者等、すべての労働者の権利を保護し、安全・安心な労働環境を促進する。

三井住友銀行では、「SDG s 推進融資」により、本業を通じ、SDG s が達成される社会の実現に貢献をしております。



リサイクルのプロとして
環境問題に取り組む

兵庫県下に新たに竣工した
プラスチックリサイクル工場

使用済プラスチックの
再原料化プラスチック資源
循環をサポート

<ご参考>

※ SDG s とは

Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標) の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を 2030 年までに目指す 17 の目標と 169 のターゲットのことです。

以 上

このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。